

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

株式会社 フィールズ

## ② 施設・事業所情報

名称：スマイルコート円蔵	種別：特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)
代表者氏名：栢沼 功壮	定員（利用人数）：29名（29名）
所在地：〒253-0084 茅ヶ崎市円蔵2-7-6	
TEL：0467-50-1388	
ホームページ：https://www.care-net.co.jp/facility/0301-2/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成23年10月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 ケアネット徳洲会	
職員数	常勤職員： 11名 非常勤職員： 10名
専門職員	（専門職の名称） 名 柔道整復師：1名
	正看護師：3名 実務者研修：1名
	介護支援専門員：2名 介護福祉士：8名
	機能訓練士：2名 初任者研修：3名
施設・設備の概要	（居室数）個室29室
	（設備等）食堂・浴室（一般浴槽・ストレッチャー浴）・トイレ・洗面設備 健康管理室・談話室兼面談室・事務室・食堂兼機能訓練室

## ③理念・基本方針

## ◆ケアネット徳洲会の理念

- 生命を安心して預けられる施設
- 健康と生活を守る施設

## ◆理念の実行方法

- ・ご利用者様の生命と尊厳を守り尊重します
- ・ご利用者様のプライバシーを尊重し、個人の権利・財産・情報を護ります
- ・ご利用者様を生活の主体者として支援します
- ・ご利用者様が地域住民の一員として社会生活を営むことができるように支援します
- ・ご利用者様からの贈り物は一切受け取りません
- ・介護技術の向上にたえず努力します
- ・社会的責任を認識し、健全な運営によって事業の継続性を確保します

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

◆当施設は1フロア14名～15名と少人数のため一人ひとりと向き合い支援を行いやすい施設と考えております。

また、徳洲会系列のため医療面でも茅ヶ崎徳洲会、湘南藤沢徳洲会と連携しており何かあればすぐに相談、受診できる環境にあります。

施設の場所としても閑静な住宅街の中にありますので、入居者様が静かに生活できる環境を提供しております。

また、地域住民の方とも交流を図っており避難訓練やお祭りなどに積極的に参加していただいております。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年10月12日（契約日）～ 令和4年3月7日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

1)医療連携に優れています  
施設は徳洲会グループの一員で地元提携病院を持ち、訪問看護ステーションと連携してサポート体制を確立しています。「生命を安心して預けられる施設」、「健康と生活を守る施設」を理念に掲げ、入居者の健康管理に取り組んでいます。入居者の体調変化に気づいた場合は常駐の看護師が対応し、医師・医療機関と連携して取り組んでいます。夜間は訪問看護ステーションに連絡し、指示を仰ぎます。入居者の状態に応じて、朝及び入浴前に血圧や検温などバイタルチェックを行い、日々の入居者の健康確認と健康状態を記録して管理しています。

2)様々な職種の職員が協力して支援しています  
ケアプランは介護職、看護職、機能訓練士等様々な職種による関係職員の合議で策定され、家族や医師の意見も反映し、家族等の同意を得ています。看護師は医療的ケアにあたり、機能訓練士は入居者の身体状況を確認し、現在の能力の維持・向上のために、歩行や足上げの訓練等を行っています。毎日、プラン実施表に記入する事で、ケアプランの確実な実施となっています。

3)運営懇談会を開催し、家族に施設の運営状況を伝えています  
懇談会は本社運営事業部や施設長・生活相談員・介護総リーダー、家族等が出席して基本的に年2回実施しています。会では法人と施設の決算内容を公開しています。施設の介護支援の状況は、苦情委員会や身体拘束・安全・防災などの各委員会活動の活動内容を報告しています。市へ報告した事故内容と対応策なども報告し、入居者・家族との信頼関係を高めるよう努めています。運営懇談会資料は欠席した家族にも送付され状況を伝えています。

◇改善を求められる点

1)権利擁護の徹底した取組  
苦情解決の第三者委員の設置がありません。苦情解決の仕組みを掲示することが期待されます。身体拘束・虐待の無い支援を目指し研修を開催しています。しかし、一部職員による言葉遣いの乱れや不適切な関わりなどもあるようです。利用者・家族からの意見

や苦情は運営懇談会で公表しています。今後は事故報告の振り返りと検討、入居者への関り、苦情解決等の入居者の権利擁護の取組が期待されます。

#### 2) 達成基準を明確にした事業計画の策定

事業計画の策定プロセスに職員の振り返りが反映されていません。計画は施設長が主に相談員・リーダーと話し合い策定しています。計画は入居者支援に関する項目において、具体的な取組内容や数値目標、達成基準が明確になっていません。食事や外出・レクリエーション・委員会活動などの項目を加味し、数値目標や達成基準を明確にした計画を策定し、報告書では期間中の実施状況を把握することが期待されます。

#### 3) 組織的な運営の整備・福祉人材の確保

施設の運営に課題が散見されます。今回の第三者評価においては、自己評価項目の未記入が目立ち、職員の合議や打ち合わせなどの体制が不備と見て取れます。また、職員アンケートは殆ど未提出です。全体会議やフロア会議、施設内研修等では職員の参加率が課題とされています。施設の組織的な運営の確立が期待されます。また、施設では人員が不足している状況が続いています。職員の新規採用を通じて、日々の支援活動での職員同士の連携や、知識や専門技能習得に向けた研修の強化などの取組が期待されます。

### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度は大変お世話になりました。事業所実施に関わる全ての項目について点検・確認する良い機会となりました。現状をきちんと評価していただき大変ありがたく思います。

出来ているところ、足りないところに気付くことが出来たため、職員間で共通認識を持ったうえで、優先順位を決めて段階を踏んだ取り組みを行いたいと思います。貴重な機会、有難うございました。

### ⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり